

# 販促支援策を強化

エコー見本市西日本

## 納品店向け商材を豊富に



店頭イベント提案コーナー

が途切れることなく賑わった。開会式で、渡部社長は「西日本の見本市は2016年にエコー見本市西日本を開設して以来、改善を続けてきた。今年も引き続き、第10回目の節目を迎えることができた。今回は新規14社を加え、新鮮かつ多様な展示品を揃えた。売り場づくりや顧客提案のヒントとなる販促支援策を強化する施策として、①各社小間内での『触れる・試せる』商品の展示、②『新商品動画紹介コーナー』とリンクしたQRコード付きディスプレイの提供、③『文房具屋さん大賞』受賞商品のロケット付きディスプレイの提供、④店頭で実演できる『店頭イベント提案コーナー』などの新企画を取り入れた。リアルな展示会の最大の強みはお客様の生の声を

社の発展に尽力すると決意を表明されており、今後も共に発展していきたい」と挨拶。本直孝実行委員長（京滋BS社長）は、「年末商談会としてスタートしたが、納品店への提案商材も強化している。『商品の売り方、見せ方、伝え方』をテーマに、販売事例や情報を共有することで、商売につなげたい」と述べ、一本締めで閉場した。

のセミナー、大見本市のイベント館でのショートセミナーの動画放映など、販売店の売上向上につながる販促策を多数用意した。記者会見で政木代表は「今年度は売上も伸び、今年度は売れ行きが鈍ると言われたが、某社では付加価値をつけた高単価な年賀はがきの売れ行きが好調

で、売り上げは前年を超えたという。業界が潤うためには高単価商品が売れることが重要」と話した。なお、「2025エコー見本市西日本」は、11月6日にOMビルで開催を予定している。

新企画の提案コーナーでは、B to C市場で実績のあるサンビートの「OEM商材」を提案。主な提案商材は、新商品「マルチステッカード」、日付印「テクノタッカード」、スタンプ台「不要タイプ」、様々なサイアスター、ステンシル、不要の「浸透印」「スクエアスタンプ30」、オリジナルデザインの「スタンプ台」

（中型）、飾りも楽しめる高さと、スピード対応をアピールした。新規商材の「マルチステッカード」は、衣類や金属、プラスチックなど、何にでも貼れる特殊粘着ステッカードで、「文具女子博2024」で先行発売、多くの注目を集めた。

高さと、スピード対応をアピールした。新規商材の「マルチステッカード」は、衣類や金属、プラスチックなど、何にでも貼れる特殊粘着ステッカードで、「文具女子博2024」で先行発売、多くの注目を集めた。

初回は、小学生の時から親の文具店を手伝って店頭での販売を担い、仕入も行っていったことや、その後、独立して文具店を経営、文房具王の獲得や数々のテレビ、ラジオ出演。また、現在では文具メーカーの商品開発アドバイザーや手帳プランナーなど、マルチ活動

を行っている経歴を披露。また、8月に開催される文房具展のPRも行った。今後は毎週、様々な生活が豊かになる文具情報を提供していきたいと意気込みを語った。番組は、毎週月曜日午前10時30分（頃）、12分間（程度）放送されている。



# 原田氏が新理事長に

【日本文具新聞社発】東京文具事務器卸協同組合（藤原理事長）の第73回通常総会は、5月16日午後3時30分から東京・柳橋の共和フォーラムで開催し、上程諸議案を承認可決した。任期満了に伴う役員改選では原田和樹氏が新理事長に就任した。

藤原理事長は「4年間の役員を降りるので、組合の期の中で代わるのは問題があると思うので、この総会での交代をお願いする」と挨拶。議長に藤原理事長が就いて議長に移り、令和6年度事業報告承認の件、令和6年度財産目録・貸借対照表・損益計算書及び剰余金処分案承認の件を藤原理事長

と挨拶。議長に藤原理事長が就いて議長に移り、令和6年度事業報告承認の件、令和6年度財産目録・貸借対照表・損益計算書及び剰余金処分案承認の件を藤原理事長

が説明、松澤保夫監事が監査報告して承認、令和7年度事業計画決定の件、令和7年度収支予算並びに賦課金徴収方法決定の件を藤原理事長が説明。

令和7年度借入金残高並びに1組員に対する貸付金残高の最高限度決定の件、令和7年度貸付利息の最高限度決定の件を議長より説明の役員変更報告の件は、新理事長に原田和樹副理事長の昇任と新役員を説明して、全て原案通り可決した。

新理事長に選任された原田和樹氏は「年齢も若いですが、専任役員からのご指名であ

りお受けする事となった。副理事長に新たに平出理事が昇任となった。新役員の皆様は協力を得て組合の運営を行って行きたい。御とうり流通二段階を担っている。各位の支援で運営していきたく」と、就任にあたって挨拶し、司会の杉山副理事長の閉会の辞で終了した。

新役員は次の通り。敬称略  
理事長 原田和樹（東京クラウン）新任  
副理事長 杉山一徳（東京エコー）、平出晴久（ツール文具）、新任  
専任理事 齊藤仁（員外）

常務理事 洲崎勝彦（永和）、松崎隆（ココヨマーケティン）、園田浩司（タキネット）、清水敏達（三菱鉛筆東京販売）、新任、山崎光弘（ライオン事務器）新任  
理事 船田雅弘（ココヨ北関東販売）、海老沼優文（エヒスマ）、岡本茂雄（日東商會）、杉原誠一（エスエム・テイ）新任、豊田栄一（エムティエス）新任  
監事 栗田和明（栗田紙店）

「帳票管理」の提供開始  
○…シヤチハタ…○  
SDXプラットフォーム第1弾

シヤチハタ株式会社（舟橋正剛社長、名古屋市中）は、バックオフィスDXツールである「Shachihata Cloud」を、データ連携、データ可視化を実現するサービス「Smarttec Vision」を組み合わせたソリューション「SDXプラットフォーム」の第1弾として、「帳票管理」の提供を4月21日より開始した。

「帳票管理」は、業務プロセス毎のデータをシステムに一元管理し、プロセス毎に用途に応じたデータの可視化や帳票出力などが

可能となるサービス。業務にフィットしたカスタマイズが可能であり、従来計算ソフトで行っていた入力や集計作業から解放される。請求業務においては、請求書の発行から送付データの管理、受取側の状況可視化までを一元化できるようなることで、請求書にまつわる煩雑な作業や労力、時間を確保作業に充てることのできるようになり、ミスの防止や低減にも繋がります。請求書の受取側は費用

負担0円でいつでも何度でもWEBからダウンロードができるようになる。各種帳票（領収書、納品書、明細書など）についても、テンプレート作成一括発行/データ一元管理まで一括対応が可能。「帳票管理」導入により、郵送関連のコスト削減や作業時間といった人件費の削減も実現する。

価格は、初期費用（システム導入）で11万円（税込）から、お客様の運用に合わせ、セミナーなどで業務に

和 常務取締役 早川大介（管理本部長）、安達和史（営業本部長）昇任  
取締役 田中文浩（静岡事業部部長）、大盛章夫（量販部部長兼通販部部長）、長兼東京MD部部長、後藤文宣（生産本部長）、大澤政人（社外）、山崎香社外  
新任 監査役 林毅（常勤）、松野聡彦（常勤）、和中修二（社外）、古谷勝彦（社外）  
執行役員 伊吹克也（管

本部を新設する。営業本部 営業戦略の強化を図るとともに、より効率的に営業活動を推進し、迅速な意思決定を行うため、営業本部を「営業推進本部」と「営業戦略本部」に分割する。人事異動 取締役の異動 取締役 木村美代子（代表取締役社長）（社長執行役員兼CEO）兼開発部門担当。萩田直道（取締役専務執行役員）（構造改革担当兼営業推進本部担当兼営業戦略本部担

当。亀田登信（取締役常務執行役員）（広報・IR部担当兼EBC事業部担当兼品質管理部担当。執行役員の異動 高橋庄太郎（上席執行役員）（経営企画本部長兼監査室担当）。田村淳也（執行役員）（経営企画本部副部長兼国内子会社統括部担当）。立石幸士（執行役員）（開発本部長）。大橋喜美子（執行役員）（総務部担当兼DE&I推進担当）。谷口真治（執行役員）（営業推進本部長）。